

第133号 令和5年

洋野町という名の家族

# 久慈平荘



社会福祉法人 みちのく大寿会

法人基本理念

私たちは、故郷の笑顔を守る法人になります。

# フォト

## かわいい来荘者



育児休業中の職員が来荘

生まれたばかりのめんこい赤ちゃんの顔を見せにきてくれました。



## どうぶつパンづくり



ねずみパンの鼻先は、ココア生地で。メロンパンに頭と手足をつければ、楽しく簡単にパンのできあがり。

## 季節の味覚バイキング

「たくさん並んだ季節のメニューに『どれも食べた』」



## 鯉のぼり見学

のぼりに元気をいただきました。青空を泳ぐ色とりどりの鯉



## 令和4年度社会福祉法人みちのく大寿会 決算状況

貸借対照表

第3号第1様式  
令和5年3月31日現在(単位:円)

勘定科目		決算額
資産の部	流動資産	191,422,050
	固定資産	655,741,121
	基本財産	310,928,526
	その他の固定資産	344,812,595
	資産の部合計	847,163,171
負債の部	流動負債	31,382,500
	固定負債	44,861,324
	負債の部合計	76,243,824
純資産の部	基本金	13,935,637
	国庫補助金等特別積立金	143,908,696
	その他の積立金	270,000,000
	次期繰越活動増減差額	343,075,014
	(うち当期活動増減差額)	3,488,788
	純資産の部合計	770,919,347
負債及び純資産の部合計		847,163,171

資金収支計算書

第1号第1様式  
(自)令和4年4月1日 (至)令和5年3月31日(単位:円)

勘定科目		決算額
事業活動による収支	事業活動収入計①	439,804,180
	事業活動支出計②	413,341,571
	事業活動資金収支差額③=①-②	26,462,609
施設整備等による収支	施設整備等収入計④	0
	施設整備等支出計⑤	11,942,830
	施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	△ 11,942,830
その他の活動による収支	その他の活動収入計⑦	1,522,095
	その他の活動支出計⑧	21,163,458
	その他の活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	△ 19,641,363
予備費支出⑩		-
当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩		5,121,584
前期末支払資金残高⑫		171,082,318
当期末支払資金残高⑬=⑪+⑫		165,960,734

事業活動計算書

第2号第1様式  
(自)令和4年4月1日 (至)令和5年3月31日(単位:円)

勘定科目		決算額
サービス活動増減の部	サービス活動収益計①	438,895,420
	サービス活動費用計②	435,619,003
	サービス活動増減差額③=①-②	3,276,417
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益計④	909,382
	サービス活動外費用計⑤	697,000
	サービス活動外増減差額⑥=④-⑤	212,382
経常増減差額⑦=③+⑥		3,488,799
特別増減の部	特別収益計⑧	0
	特別費用計⑨	11
	特別増減差額⑩=⑧-⑨	△ 11
当期活動増減差額⑪=⑦+⑩		3,488,788
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額⑫	356,586,226
	当期末繰越活動増減差額⑬=⑪+⑫	360,075,014
	基本金取崩額⑭	0
	その他の積立金取崩額⑮	0
	その他の積立金積立額⑯	17,000,000
	次期繰越活動増減差額⑰=⑬+⑭+⑮-⑯	343,075,014

令和4年度社会福祉法人みちのく大寿会計算書類は、久慈平荘事務室ほか、久慈平荘ホームページにおいて閲覧することができます。





# 福祉でまちづくり～学生の学びに福祉の視点を～

みちのく大寿会では、地域の学校と連携し福祉教育に取り組んでいます。今回は取り組みの一部をご紹介します。

【話し合い】



【インタビュー】



## 大野高校「総合探求の時間」

2021年から始まった大野高校の福祉教育も3年目を迎えました。今年は、2学年を対象にして、「総合探求の時間」として授業内での取り組みをおこなっています。今年の希望者は2名。少数精鋭で福祉の体験授業を通して、福祉の理解を進めています。

岩手県立大学社会福祉学部の宮城教授と大石さん(奥州市出身・大学4年生)を迎え、高校生と福祉について話し合いました。話し合った結果を踏まえ、当事者に話を聞くことになりました。高校生が、小規模多機能ホームくじひらを利用している高齢者と、みちのく大寿会の職員にインタビューするワークショップをやりました。質問して、相手の本心を聞き出すことの大変さを、体験して知りました。

続いて、小規模多機能ホームくじひらの地域交流ホールの活用案について、高校生のアイデアを、マインドマップを使って「見える化」しました。その中で、国際交流というキーワードから、外国出身の介護士とのミーティングを企画して、10月6日に第1回目を開催しました。慣れない日本語を一生懸命話す外国出身介護士の姿を見守る会場の雰囲気は、福祉的「やさしさ」があふれる会場になりました。自分の国の話、食べ物の話、趣味の話(漫画、アニメ)で盛り上がり、継続的にミーティングを開催したいとの希望が出ました。

【国際交流ミーティング】



【講義】



## 大野中学校「ひろの学」

昨年度から始まった大野中学校3学年の「ひろの学」。福祉的視点を提供することで、幅広い視野に立ち、福祉・介護・医療分野への興味を持ってもらうために、実施しています。

今年度は、宮城教授と元野さん(秋田県出身・大学4年生)が主担当で関わっています。福祉の講義とともに、9月22日には久慈市山根地区にある社会福祉法人琥珀会に視察研修に向いて、社会福祉の可能性を学びました。

それらの一連の講義を受け、地元・洋野町の保健・福祉を学ぶ目的で、洋野町健康増進課長兼保健師長の金澤保子さんと、特別養護老人ホーム久慈平荘副施設長の野田大介が登壇し、地元の良いさを伝えました。

## 岩手県立大学社会福祉学部学生「社会福祉法人の福利厚生について」

この研究テーマは、岩手県立大学社会福祉学部の白藤さん(花巻市出身・大学4年生)の卒論テーマです。IWATE働き方改革 AWARD 最優秀賞を受賞するなど、他には無い福利厚生が充実しているみちのく大寿会の実態を深掘りする研究です。

経営者へのインタビューと、働く職員にも福利厚生の満足度アンケート調査を実施しました。アンケート結果を踏まえ、10月下旬に職員へのインタビュー調査を実施して、多角的に分析した報告書が出来上がる予定です。さらなる法人発展のために、報告書の完成が待たれます。

# ご奉仕・ご慰問感謝申し上げます



おおの駒踊り保存会の皆さま



上組新興団の皆さま



洋野町身体障害者協議会の皆さま



**令和5年度  
介護職員初任者研修が修了**

3年ぶりに開講した介護職員初任者研修が修了しました。今回はみちのく大寿会の職員に加え、老人保健施設リハビリタウンくじの職員4名様からも講師のご協力を頂き、研修プログラムを実施。

洋野町や久慈市などから参加の受講生15名が無事に修了となりました。当法人では、ベトナムから来日している技能実習生を含めた2名が受講し、介護技術や福祉について学びを深めました。

## ◆今号の表紙◆

10月初め、久慈平荘の開所33周年を祝う記念行事が開かれ、特別ゲストとして福祉施設やイベントなどで方言による昔話を披露する活動をされている語り部マイスター、今昔亭光草さんをお招きしました。

「むがあーす(昔)、むがあす」から始まる光草さんの軽妙ななまりの昔話にみなさん引きこまれて大笑いのひと時でした。

## 「介護職員の働きやすい職場環境づくり 厚労大臣表彰奨励賞受賞」

この表彰は、職員の待遇改善や人材育成、生産性の向上などに関する優れた取り組みを表彰することを通じて普及を図ることを目的に今年度創設されました。

久慈平荘の取り組みとして、子育て支援手当(保育料1/2の補助)の支給、ICT機器導入による記録業務の効率化、職場環境アンケートを実施し、改善に取り組んでいる点が評価され、県内で受賞した2事業者のうちのひとつとして奨励賞に輝きました。

伝達式が久慈市の合同庁舎で行われ、県北広域振興局の坊良局長から表彰状が野田理事長へ手渡されました。



## 【洋野町認知症カフェのご案内】

開催日: 12月8日(金)  
2月16日(金) (令和6年)  
時間: 10時~12時  
場所: 小規模多機能ホームくじひら  
申込: 各日ともに先着15名  
どなたでも参加できます♪

☎0194-75-3917  
(くじひら)までご連絡  
ください。



「福祉でまちづくり」の取り組みも4年目を迎え、地域の皆さんの理解も徐々に進んでいます。地元の大野高校・大野中学校の福祉教育を中心にして、将来の大野を担う若い世代に、良質な福祉教育を提供していきます。継続することで見えてくることがあります。今の生徒さんは、気持ちが良いくらい真っすぐ！自分の意見を述べることで、大人と議論をすることもいとわないその姿に、感動さえ覚えます。この生徒たちが大きくなり、地元大野を支え、日本を盛り上げていってほしいと切に願うばかりです。



「福祉でまちづくり」の取り組みも4年目を迎